2013.4月-1
今月の情報

温もりを届けたい、手からこころへ・・・・・・・・・

たまちゃん通信 40号

http://www.otedama.jp E-mail:honbu@otedama.jp
日本のお手玉の会本部
〒792-0013 愛媛県新居浜市泉池町10番1号
TEL：0897-32-0302 FAX：0897-32-0311

八王子お手玉遊び競技大会の報告 ― 八王子お手玉の会 ―

去る二月九日八王子労政会館で、『伝統文化お手玉教室発表会&第6回八王子お手玉遊び競技大会』を開催しました。今回の発表会に今まで収集聞き取りで完成した『八王子のおさらい』を発表披露する事に、多くのメディアの方が関心を寄せ、大会前、各紙に大きく掲載され、市内外から356人余りの来場者を迎え、小学生の参加も170名あります。

『伝統文化お手玉教室』の発表に毎年真剣に取り組む子どもの姿は、見る人に感動を与え、同年代の子どもの目標となります。

小学生の個人戦は、1～6年生が一緒に競技します。種目は両手3個ゆり・片手2個ゆり・両手2個ゆりの3種目です。回を重ねるごとに児童の技の上達は著しく、主審は決着をつけるのに四苦八苦の嬉しい悲鳴です。入賞はほとんど高学年になるため、低学年にもチャンスを与えるチャレンジ戦が用意されています。入賞者以外の1・2年生は両手2個ゆり、3年生以上は両手3個ゆりのチャレンジ戦は満足感と、やる気に大いに役立ち、子どもの気持ちを考えた思いやりのある方法と、高い評価を頂いています。

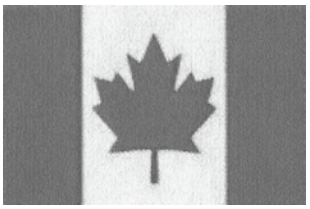
小学生の個人戦に続き、中学生以上の成人の部でも、教え子は次々と入賞を果たし、目覚ましい成長に目を見張りました。大会運営にも携わり活躍しています。

昨年から種目に加えた両手4個ゆりは、小学生から成人まで、年齢制限無しの世代を超えた交流戦として行っています。大人のジャグラーも参加のなか、優勝は小学5年生の女の子でした。彼女は1年生よりお手玉に親しみ、毎月お手玉教室で熱心に練習してきました。準優勝、3位は、日本のお手玉の会4段を持つ中学3年生と小学3年生でした。彼らもお手玉教室に通った子ども達です。ご両親からおばあちゃんも競技に参加され、お手玉の花が見事八王子にも開花しました。

団体戦は、時間の関係で小学生の部のみとし、今年度から5人制のリーグ戦を取り入れました。主願とする礼儀と、思いやりの気持ちを大切にしながらの熱戦です。

当大会は、『平成24年度文化庁文化遺産を活かした地域活性化事業』の一つとして、年間を通しての活動と、練習の成果を発表する場です。会員の日頃の弛みない努力の証がここに結集され、年ごと盛況さを増してきました。景品は金・銀・銅・チャレンジはブルーの会員手造りの布製キラキラお手手玉です。キラキラお手玉はみんなのあこがれの目標、参加賞も、会員の心のこもった座布団型お手玉です。

この大会を開催する事が出来ますのも、本部、支部の皆さまのゆるぎないご努力をお手本にさせて頂いているお陰と、感謝しております。又、当市児童館、学童保育所等の先生方の惜しまないご協力の賜物と、感謝の気持ちは尽きません。ありがとうございます。



カナダの日系文化センター・博物館にお手玉をプレゼント！

日本のお手玉の会の長野文彦副会長は、3月中旬、カナダの福祉行政を視察に出かけ、バーナビーにある日系文化センター・博物館を訪ねました。

そこで、同館の林光夫会長から、「プログラムや展示を通じて異なる世代を結び付け、日系カナダ人の歴史・芸術・文化を守り、広めていきたい」という説明を受けました。

館内を見学すると、お手玉やコマ、凧など日本の郷土玩具が展示されていました。感動した長野副会長は、日本のお手玉の会として、お手玉や関連資料をプレゼントすることを約束して帰りました。

帰国後、長野副会長は、早速、お手玉30個、お手玉の写真絵本『お手玉』と英語版『OTEDAMA』、玉ちゃんのうちわなどを、林会長あてに送付しました。

今後、日系の人たちはもとより、カナダの人たちと、お手玉を通しての文化交流が深まることを願っています。

日本のお手玉の会事務局